

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

農村整備課長 廣川 正英

電話番号

0852-22-5176

事務事業の名称	中山間地域総合整備事業	
目的	(1) 対象	中山間地域の農村居住者等
	(2) 意図	中山間地域の農村において、集落道等を整備し、安全で快適な生活環境を提供する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県営中山間地域総合整備事業【生活環境整備】（中山間地域居住者の利便性や快適性を向上させるための生活環境基盤や都市住民との交流基盤等を、整備要望のある地域に対して、有利な国庫補助事業を利用して整備する。） 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 集落道の整備延長	目標値		0.0	0.0	0.0	909.0	m
	取組目標値							
	式・定義 計画期間中に県営中山間地域総合整備事業で整備した集落道の延長	実績値	0.0	0.0	0.0			
	達成率	-	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
	取組目標値							
	式・定義	実績値						
	達成率	-	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	47,253	94,878
うち一般財源 (千円)	1,910	2,905

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・平成28年度から工事に着手し、舗装は未実施であるが、平成29年度末で約300mの道路工事が完了している
- ・その他の生活環境整備（営農飲雑用水等）も他事業を利用することにより、一部供用を開始
- ・本事業を実施するための国交付金の要求額に対する充足率は、85%程度

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・集落道路工事に着手し、計画通り供用開始に向け工事を進めている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・県土の85%を占める中山間地域では、過疎化や高齢化が極めて深刻な状況となっており、多面的機能を有する農村集落を管理できる地域の居住者が不足している。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・中山間地域の生活環境面における都市部との格差が定住の支障となっている。

③原因を解消するための「課題」

- ・生活環境整備に必要な予算の安定的な確保が課題

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・高まる自然災害のリスクも踏まえ、中山間地域の人々が安心して暮らせる環境を確保するため、国に対して必要な交付金を安定的に確保するよう要望する。
- ・国予算の伸びが期待できる他事業の活用の検討